



株式会社ベルーナ 2026年3月期（中間期） 決算説明会資料

証券コード：東証プライム 9997
2025.11.28



1. 決算ハイライト	P.2
2. 今期計画について	P.9
3. 第6次短期経営計画について	P.11
4. 各事業について	P.14
5. 参考資料	P.29

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1-1. 決算総括

BELLUNA

売上高 : 979.9億円、前年同期比+0.9%となった。

営業利益 : 48.7億円、前年同期比+36.5%となった。

経常利益 : 為替差益が前年同期と比べ1.0億円増加し、45.0億円、前年同期比+8.6%となった。

当期純利益 : 投資有価証券売却益が前年同期と比べ9.7億円増加し、33.3億円、
前年同期比+29.7%となった。

単位：億円

連結	25/3期 中間期	26/3期 中間期	26/3期 中間期		
	実績	予算	実績	前年比	予算比
売上高	971.3	978.0	979.9	+0.9%	+0.2%
売上原価	374.1	-	362.3	-3.2%	-
販売管理費	561.4	-	568.9	+1.3%	-
営業利益	35.7	40.0	48.7	+36.5%	+21.9%
営業外損益	5.7	-7.1	-3.8	-	-46.9%
(内、為替関連損益)	(4.6)	-	(5.6)	-	-
経常利益	41.4	32.9	45.0	+8.6%	+36.7%
当期純利益	25.7	19.0	33.3	+29.7%	+75.1%

1-2. セグメント別損益

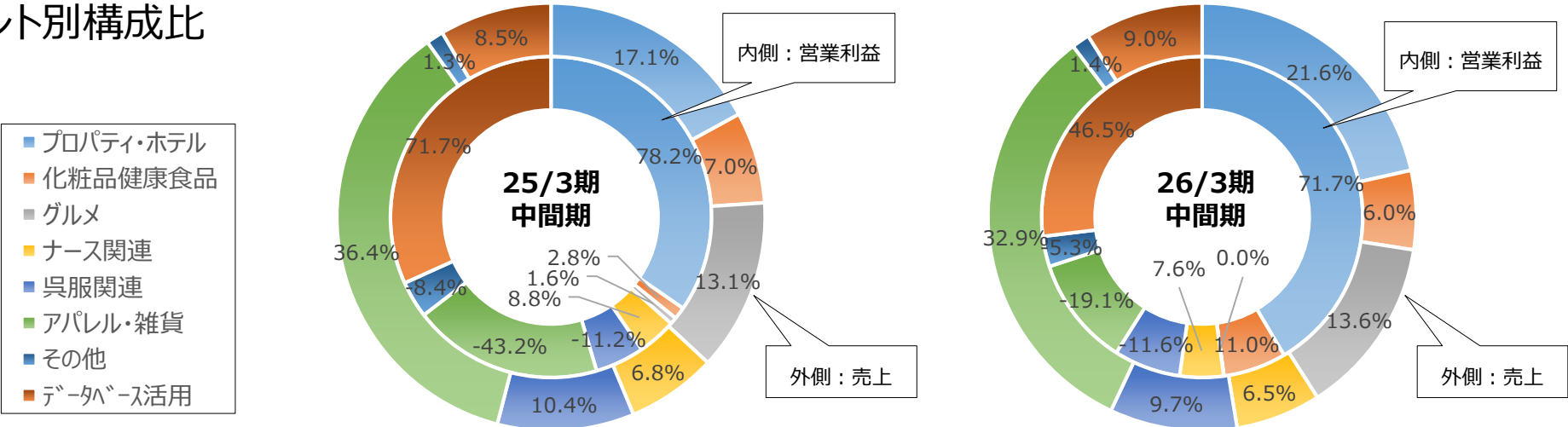
セグメント別売上高と営業利益

BELLUNA

単位：億円

	26/3期 中間期												
	グロス領域						サステナブル領域				データ ベース 活用	調整	計
	プロパティ・ ホテル	専門通販				小計	呉服 関連	アパレル・ 雑貨	その他	小計			
		化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連	小計								
売上高	212.1	58.9	133.1	63.4	255.4	467.5	95.0	322.6	13.4	431.0	88.2	-6.8	979.9
前年比（％）	+27.4%	-12.8%	+4.9%	-4.5%	-2.1%	+9.4%	-6.0%	-8.8%	+5.1%	-7.8%	+6.4%	+5.3%	+0.9%
予算比（％）	+8.4%	-8.1%	-1.5%	-4.7%	-3.9%	+1.3%	-6.4%	-3.0%	-5.7%	-3.8%	+3.7%	-59.2%	+0.2%
営業利益	35.0	5.3	-0.0	3.7	9.0	44.0	-5.7	-9.3	-2.6	-17.5	22.7	-0.4	48.7
前年比(億円)	+7.0	+4.4	- 0.6	+0.6	+4.3	+11.4	- 1.7	+6.1	+0.4	+4.9	- 2.9	- 0.3	+13.0
予算比(億円)	+0.2	- 0.6	- 0.4	- 0.4	- 1.4	- 1.3	- 2.4	+4.3	- 0.2	+1.8	+0.7	+7.5	+8.7
営業利益率	16.5%	9.1%	-0.0%	5.8%	3.5%	9.4%	-6.0%	-2.9%	-19.3%	-4.1%	25.7%	-	5.0%
前年比(pt)	- 0.3	+7.6	- 0.5	+1.1	+1.7	+1.8	- 2.0	+1.5	+4.3	+0.7	- 5.2	-	+1.3
予算比(pt)	- 1.3	- 0.3	- 0.3	- 0.4	- 0.4	- 0.4	- 2.7	+1.2	- 2.3	+0.2	- 0.1	-	+0.9

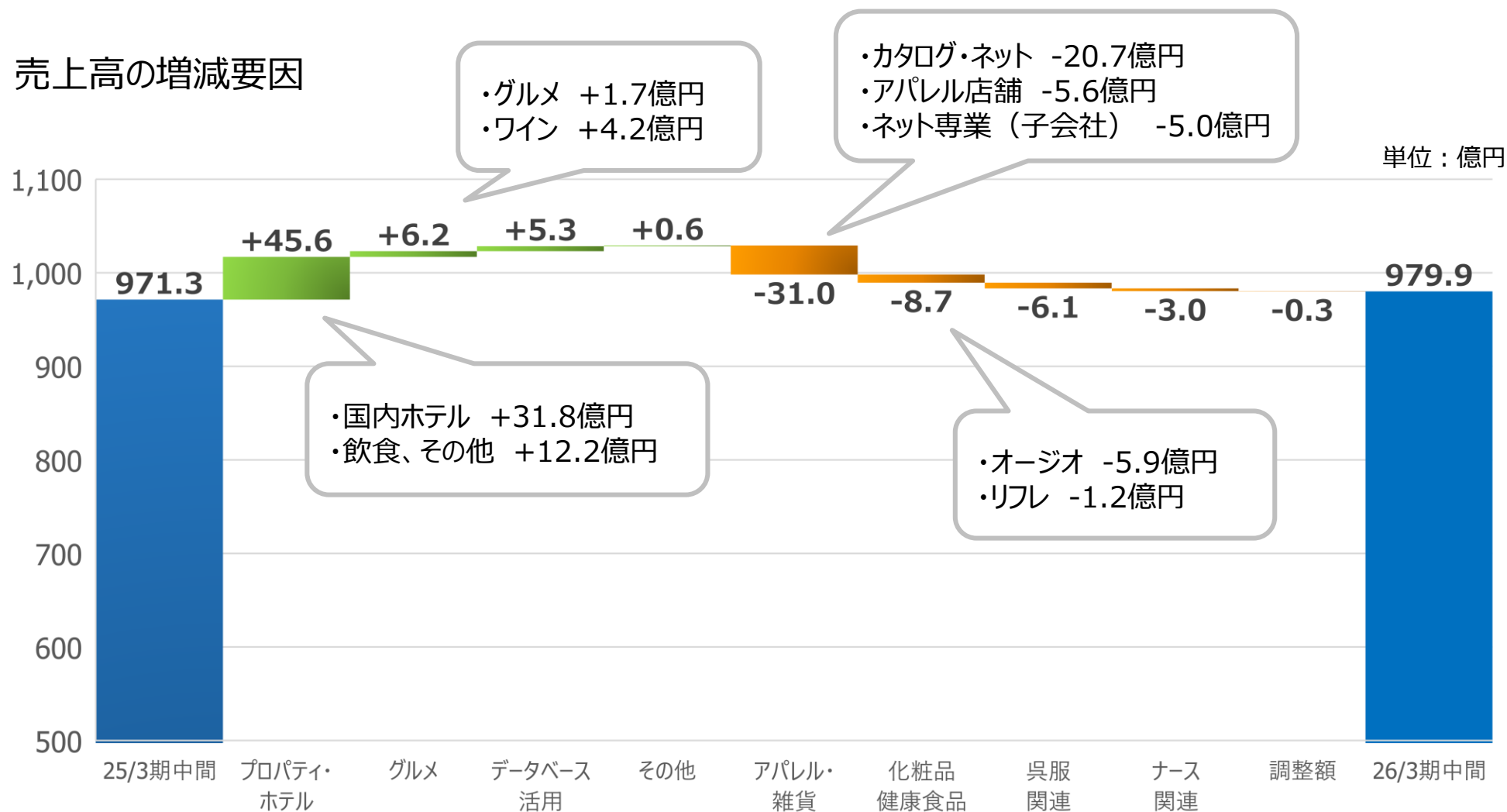
セグメント別構成比



1-3. 売上高の増減分析

BELLUNA

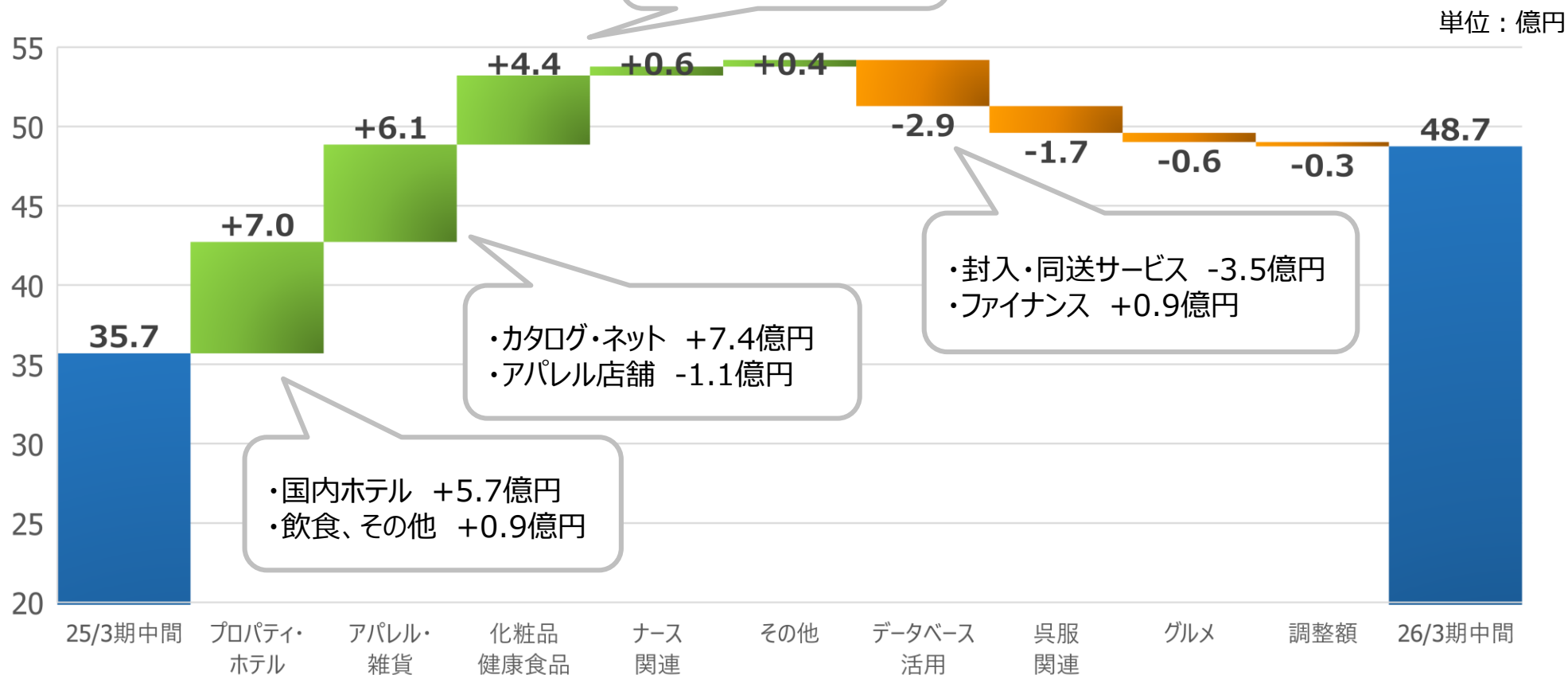
売上高の増減要因



1-4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

営業利益の増減要因



1-5. 連結貸借対照表

単位：億円

BELLUNA

	25/3末	25/9末	増減額
流動資産	1,314.4	1,351.2	+36.8
受取手形及び売掛金	108.7	102.5	- 6.2
営業貸付金	344.7	363.0	+18.4
商品及び製品	256.6	270.9	+14.2
販売用不動産	71.8	87.5	+15.7
固定資産	1,810.2	2,009.3	+199.1
有形固定資産	1,459.5	1,659.4	+199.9
無形固定資産	118.2	110.5	- 7.7
投資その他の資産	232.4	239.4	+6.9
総資産	3,124.6	3,360.6	+235.9
負債	1,708.1	1,931.0	+223.0
支払手形、買掛金及び電子記録債務	128.6	116.4	- 12.2
契約負債	34.5	46.0	+11.5
短期借入金	248.5	215.8	- 32.7
未払費用	140.0	114.6	- 25.3
長期借入金	1,028.5	1,304.6	+276.1
純資産	1,416.6	1,429.5	+12.9
【自己資本比率】	[45.2%]	[42.5%]	[-2.7P]

1-6. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

単位：億円

	25/3中間期	26/3中間期	
	実績	実績	前年比
営業活動によるキャッシュフロー	55.7	40.3	-15.4
税金等調整前当期純利益	42.1	52.0	9.9
減価償却費	29.4	34.4	5.0
営業貸付金の増減	-11.6	-17.8	-6.2
棚卸資産の増減	-27.0	-15.3	11.7
その他流動資産の増減	36.5	21.6	-14.9
法人税及び住民税（支払額）	-23.4	-27.0	-3.6
投資活動によるキャッシュフロー	-65.0	-243.2	-178.3
有形固定資産の取得による支出	-33.3	-247.7	-214.4
投資有価証券の取得支出	-15.5	-8.5	7.0
投資有価証券の売却収入	4.5	18.5	14.0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-18.1	-	18.1
財務活動によるキャッシュフロー	36.4	219.2	182.9
短期借入金の増減額	4.5	30.0	25.5
長期借入金の増減額	49.1	205.8	156.7
配当金の支払額	-9.9	-14.0	-4.0
キャッシュに係る換算差額	2.3	-1.9	-4.2
キャッシュ増減	29.4	14.4	-15.0

設備投資*1

258.3億円

減価償却費*2

34.4億円

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む

*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却も含む

2. 今期計画について

BELLUNA

2. 26年3月期計画

BELLUNA

今期は第6次短期経営計画の初年度。
10月30日に中間連結会計期間の連結業績予想の上方修正を発表。下期偏重の実績、計画を踏まえ、通期連結業績予想は据置きとしたが、ホテル事業を中心とした堅調な業績を背景に、通期の上方修正を目指す。

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	26/3期計画												
	グロス領域						サステナブル領域				データ ベース 活用	調整	計
	プロパティ・ ホテル	専門通販				小計	呉服 関連	アパレル・ 雑貨	その他	小計			
		化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連	小計								
売上高	409.0	133.3	344.6	127.8	605.7	1,014.6	232.6	703.5	29.7	965.8	179.2	-13.6	2,146.0
前年比（％）	+13.8%	-3.7%	+7.4%	+1.2%	+3.5%	+7.4%	+1.6%	-6.0%	+4.9%	-4.0%	+4.7%	+3.6%	+1.8%
営業利益	64.3	7.9	12.7	5.4	26.1	90.4	13.1	-13.3	-2.8	-3.0	48.3	-0.6	135.0
前年比(億円)	+11.7	+0.7	+0.2	+1.4	+2.3	+14.0	+0.6	+3.7	+1.1	+5.4	- 3.3	+0.0	+16.1
営業利益率	15.7%	5.9%	3.7%	4.3%	4.3%	8.9%	5.6%	-1.9%	-9.6%	-0.3%	26.9%	-	6.3%
前年比(pt)	+1.1	+0.7	- 0.2	+1.0	+0.2	+0.8	+0.2	+0.4	+4.5	+0.5	- 3.2	-	+0.7

3. 第6次短期経営計画について

BELLUNA

3-1. 中期経営計画について

BELLUNA

Nine・Six・Five and One・Two・Three計画

Nine : プロパティ事業 営業利益90億円

Six : データベース活用事業 営業利益60億円

Five : 専門通販事業 営業利益50億円

One : アパレル・雑貨事業 営業利益20億円

Two : 呉服関連事業 営業利益25億円

Three : その他の事業 営業利益5億円

中期計画として営業利益250億円の達成を目指す。

3-2. 第6次短期経営計画

BELLUNA

第6次短期経営計画（26/3期～28/3期）

単位：億円

		第5次 最終年度		第6次短期経営計画					
		25/3期 実績		26/3期 計画		27/3期 計画		28/3期 計画	
		売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
【Nine】プロパティ・ホテル事業	ホテル	319.4	39.3	390.0	45.9	425.9	49.9	474.5	55.6
	インカム・太陽光	40.0	13.2	19.0	18.3	16.5	17.1	13.2	17.0
	プロパティ・ホテル事業 小計	359.4	52.6	409.0	64.3	442.4	67.0	487.7	72.6
【Six】	データベース活用事業	171.2	51.6	179.2	48.3	194.1	50.8	211.8	53.4
【Five】専門通販事業	化粧品・健康食品事業	138.5	7.2	133.3	7.9	149.7	8.9	178.1	9.7
	グルメ事業	320.7	12.5	344.6	12.7	380.5	13.8	422.7	16.1
	ナース関連事業	126.2	4.1	127.8	5.4	131.8	6.4	136.7	7.0
	専門通販事業 小計	585.4	23.8	605.7	26.1	662.0	29.1	737.4	32.8
【One】アパレル・雑貨事業		748.4	-17.0	703.5	-13.3	741.1	-8.0	803.2	-4.0
【Two】呉服関連事業		229.0	12.5	232.6	13.1	247.8	15.0	264.4	16.0
【Three】その他の事業		28.3	-4.0	29.7	-2.8	22.2	-2.9	26.7	1.0
合計		2,108.6	118.9	2,146.0	135.0	2,296.0	150.0	2,531.0	165.0
ROE		6.4%		7.0%		7.5%		8.5%	

4. 各事業について

BELLUNA

4-1. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円） 達成事業】

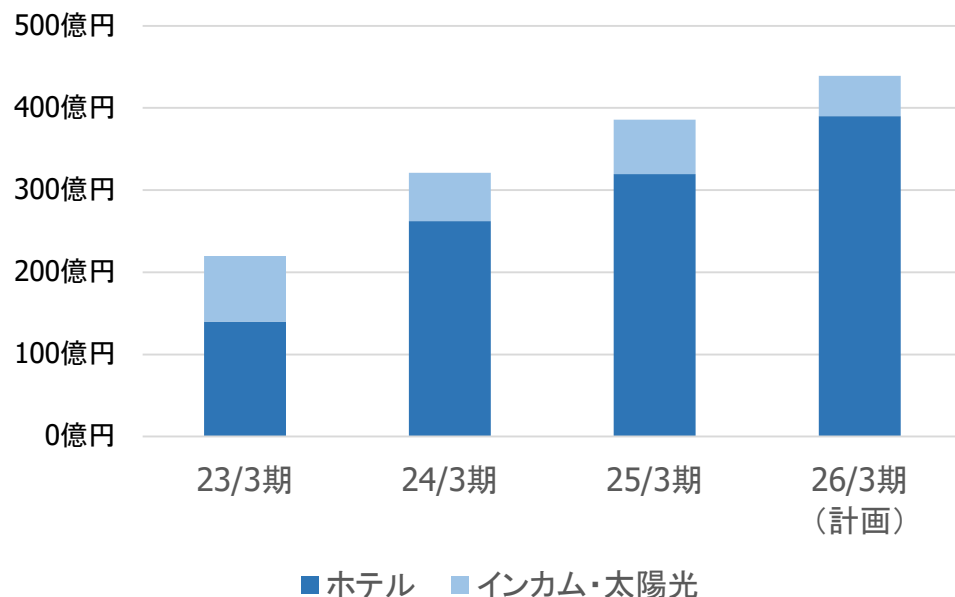
BELLUNA

プロパティ・ホテル事業は、

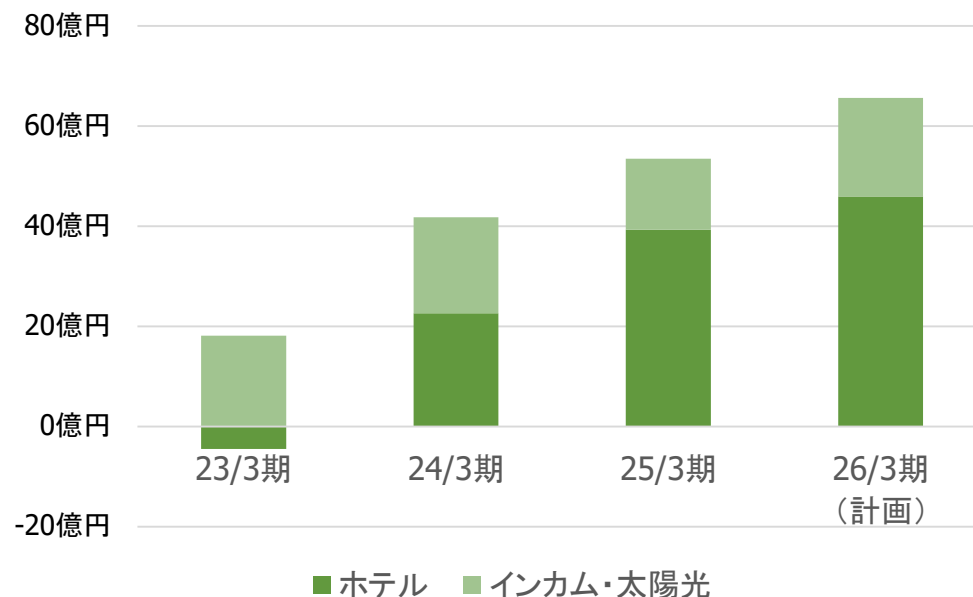
26年3月期で売上高409.0億円（前期比+13.8%）、

営業利益64.3億円（前期比+22.2%）を目指す。

売上高推移



営業利益推移



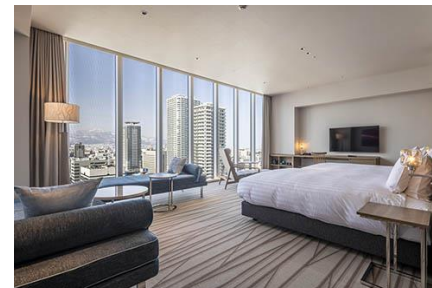
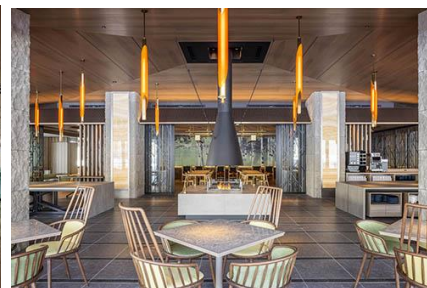
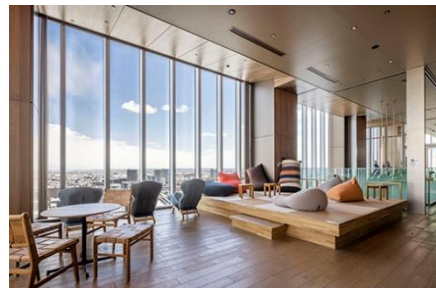
4-2. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

トピックス

札幌ホテル by グランベル（国内都市型）

2025年3月開業 客室数 605室
3月21日OA 「ガイアの夜明け」放映



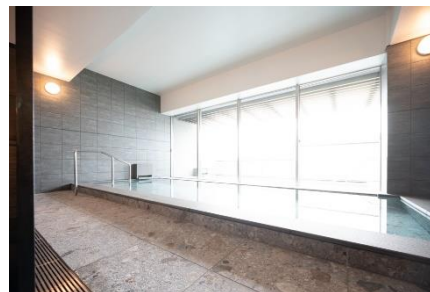
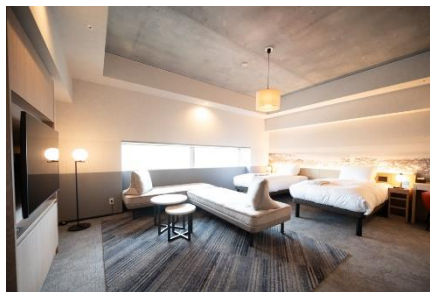
4-3. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

新規ホテルの紹介①

小樽グランベルホテル（国内都市型）

2025年7月開業 客室数 159室



4-4. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円） 達成事業】

BELLUNA

新規ホテルの紹介②

ホテル瑞鳳・秋保グランドホテル（国内リゾート型）

2017年9月開業 客室数 ホテル瑞鳳131室 / 秋保グランドホテル140室



ホテル瑞鳳



秋保グランドホテル



温泉



ラウンジ



全天候型屋内温水



桜離宮



温泉



お食事処 陽だまり

4-5. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円） 達成事業】

BELLUNA

今後の構想

- ・既存施設のバリューアップ
- ・ザ・レイクスイート湖の栖アネックス棟の新設
- ・都心ホテルの新規展開
- ・海外ホテルの新規展開

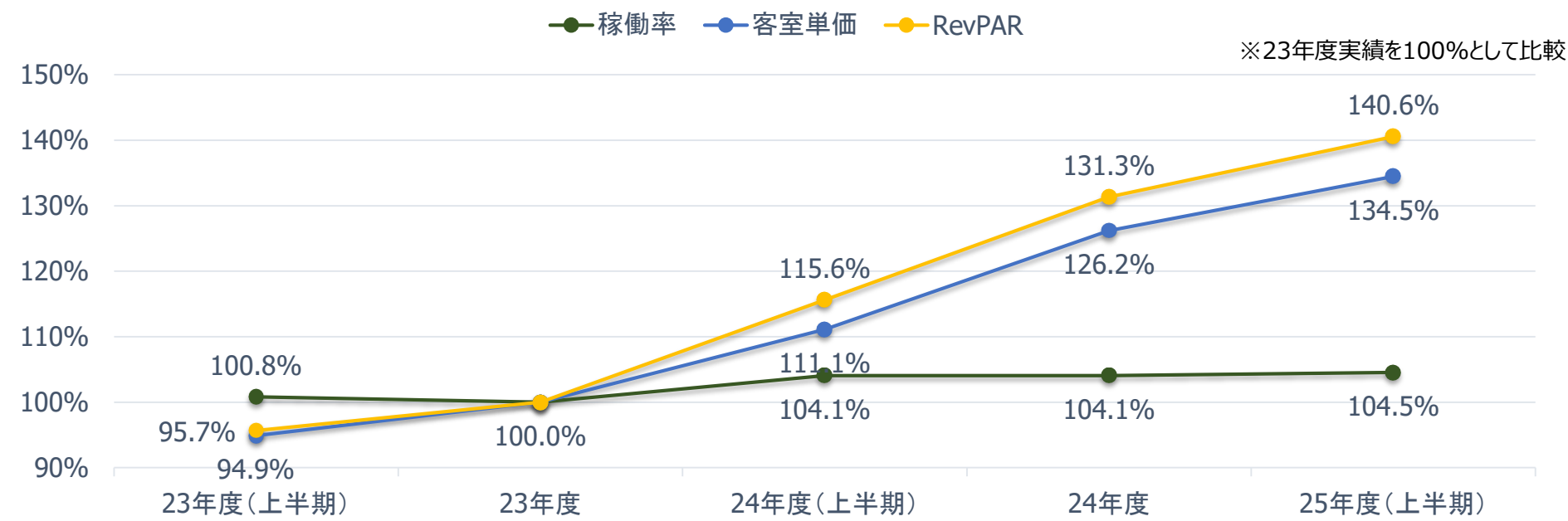
競争優位の確立

- ・全員参加型経営
- ・集客の優位性
- ・ローコストオペレーション

4-6. (参考) 【国内都市型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの月次推移

BELLUNA

国内都市型ホテル



客室単価 (千円)						稼働率 (%)						RevPAR (千円)					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	15.1	17.0	18.2	17.5	17.0	23年度	75.8	82.2	75.7	79.8	78.4	23年度	11.5	14.0	13.8	14.0	13.3
24年度	18.2	19.5	23.8	24.3	21.5	24年度	78.7	84.4	83.3	79.8	81.6	24年度	14.3	16.5	19.8	19.4	17.5
25年度	22.9	22.8	-	-	-	25年度	78.9	85.0	-	-	-	25年度	18.1	19.4	-	-	-
前期対比	+4.7	+3.3	-	-	-	前期対比	+0.2pt	+0.6pt	-	-	-	前期対比	+3.8	+2.9	-	-	-

※同条件対比のため、札幌ホテル by グランベル、札幌ファンゲートホテル、小樽グランベルホテルの実績は含まず

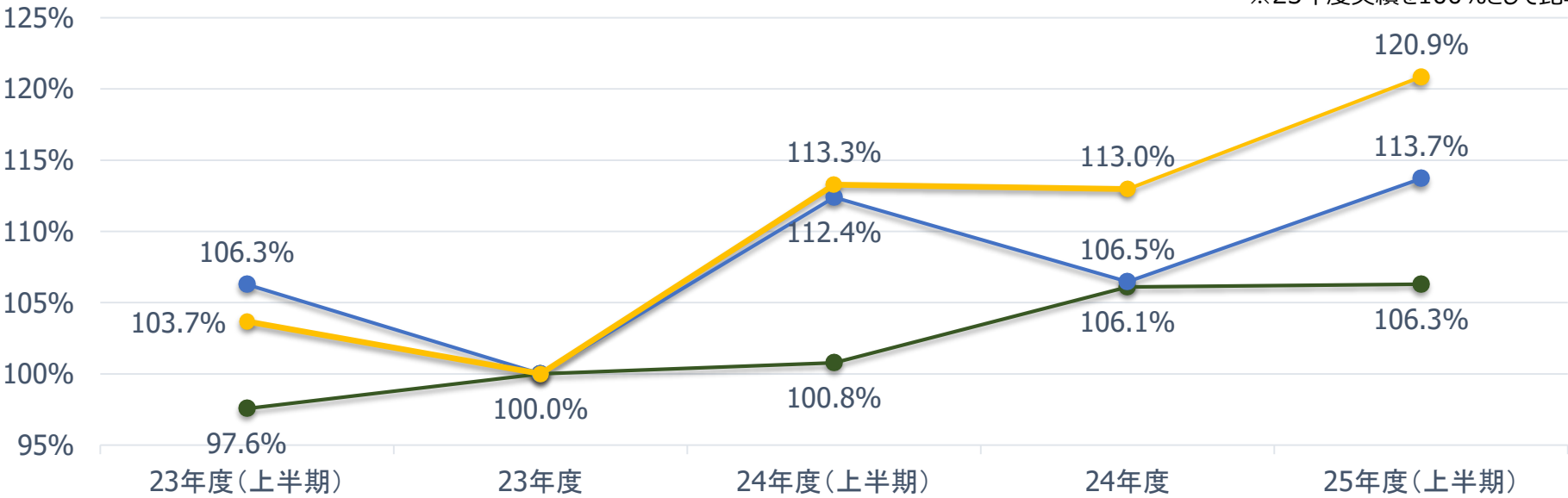
4-7. (参考) 【国内リゾート型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの月次推移

BELLUNA

国内リゾート型ホテル

稼働率 客室単価 RevPAR

※23年度実績を100%として比較



客室単価 (千円)						稼働率 (%)						RevPAR (千円)					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	35.1	39.7	34.5	32.5	35.6	23年度	47.0	64.6	55.8	61.5	57.2	23年度	16.5	25.7	19.3	20.0	20.3
24年度	36.8	42.2	36.6	35.3	37.9	24年度	48.2	67.1	60.8	67.0	60.7	24年度	17.7	28.3	22.3	23.6	23.0
25年度	36.4	43.7	-	-	-	25年度	54.1	67.5	-	-	-	25年度	19.7	29.5	-	-	-
前期対比	-0.4	+1.5	-	-	-	前期対比	+5.9pt	+0.4pt	-	-	-	前期対比	+2.0	+1.2	-	-	-

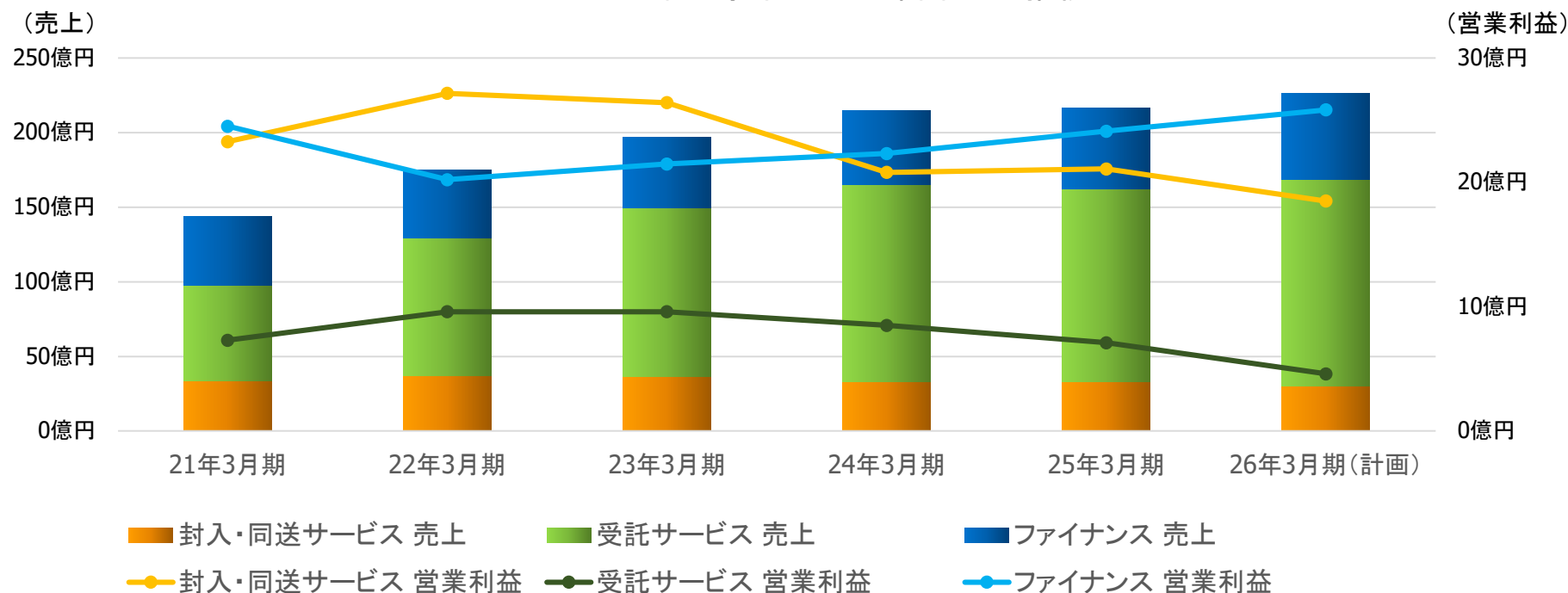
4-8. データベース活用事業 【Six（60億円）達成事業】

BELLUNA

封入・同送サービスは、アパレル・雑貨事業のカタログ発行部数減、商品出荷数減に伴い、苦戦傾向。一方で受託サービス、ファイナンス事業は好調に推移。

中期経営計画として、封入同送サービス16億円、受託サービス10億円、ファイナンス34億円を達成し、Six（60億円）達成を目指す。

データベース活用事業の売上・営業利益推移



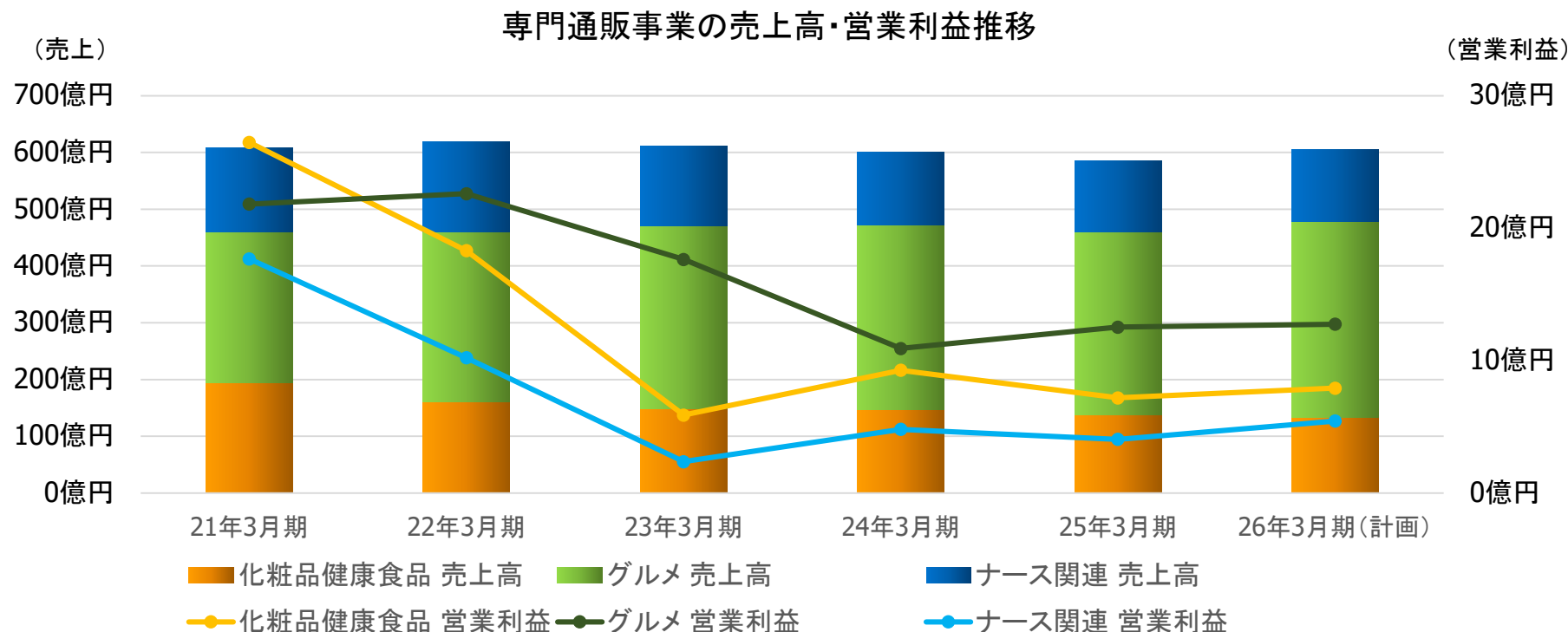
4-9. 専門通販事業【Five（50億円）達成事業】

BELLUNA

専門通販事業（化粧品健康食品、グルメ、ナース関連）は、

26年3月期で売上高605.7億円（前期比+3.5%）、営業利益26.1億円（前期比+9.8%）を計画。

中期経営計画として、化粧品健康食品15億円、グルメ20億円、ワイン5億円、ナース関連10億円を達成し、Five（50億円）達成を目指す。



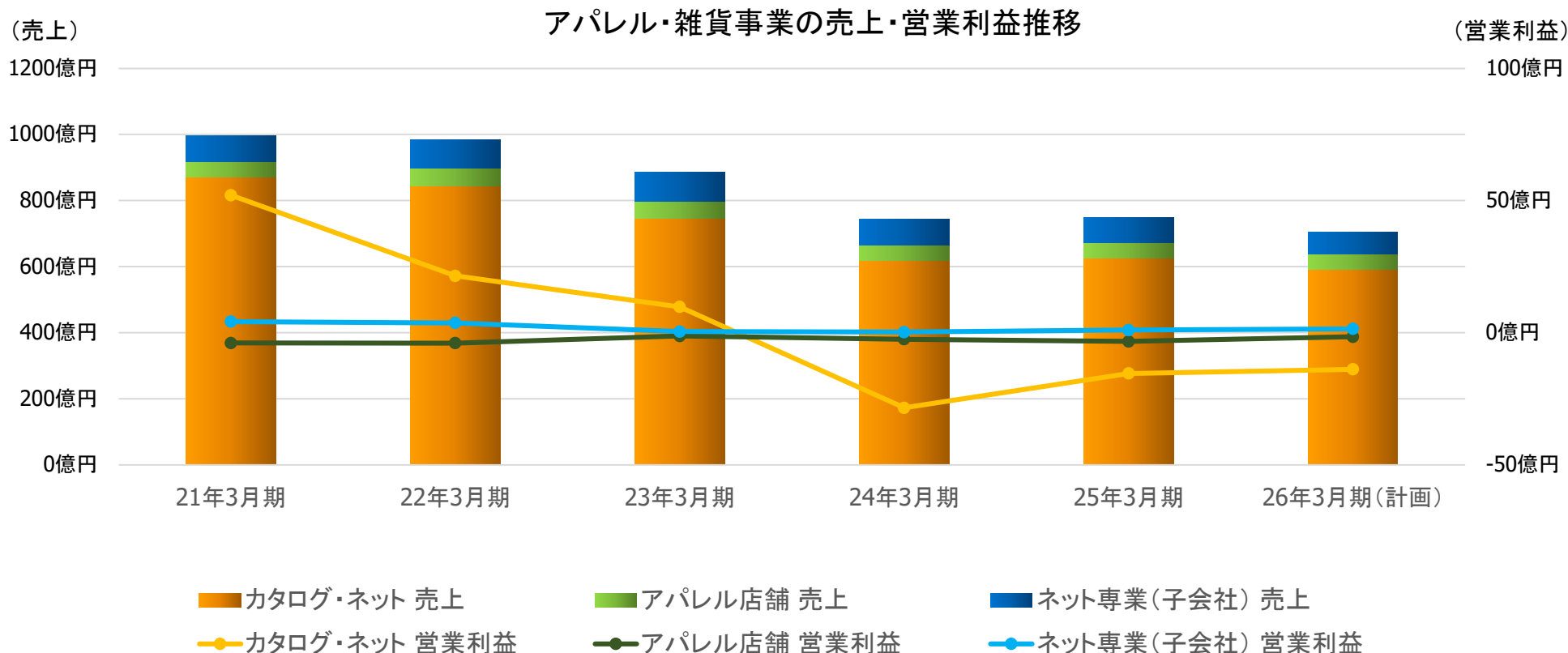
4-10. アパレル・雑貨事業 【One（20億円）達成事業】

BELLUNA

アパレル・雑貨事業は、

26年3月期で売上高703.5億円（前期比▲6.0%）、

営業利益▲13.3億円（前期比+3.7億円の利益改善）を計画



4-11. 呉服関連事業【Two（25億円）達成事業】

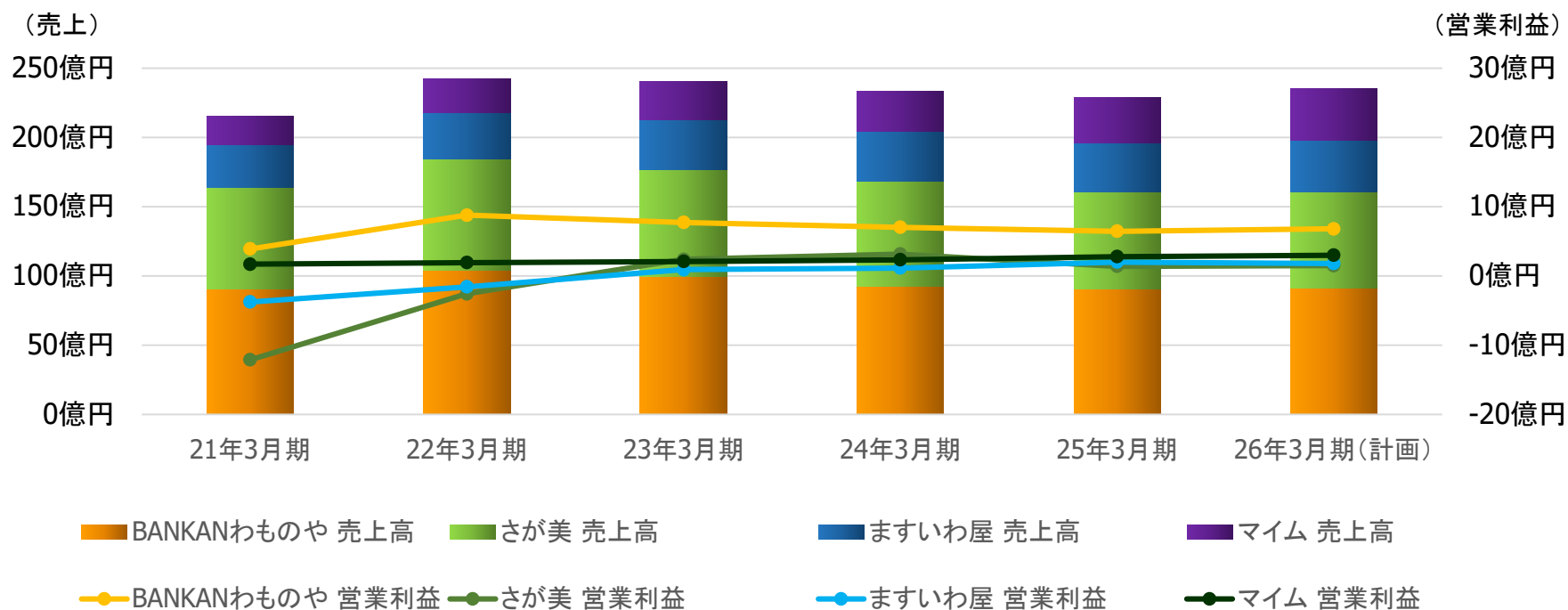
BELLUNA

呉服関連事業は、

26年3月期で売上高232.6億円（前期比+1.6%）、

営業利益13.1億円（前期比+4.8%）を計画

呉服関連事業の売上高・営業利益推移



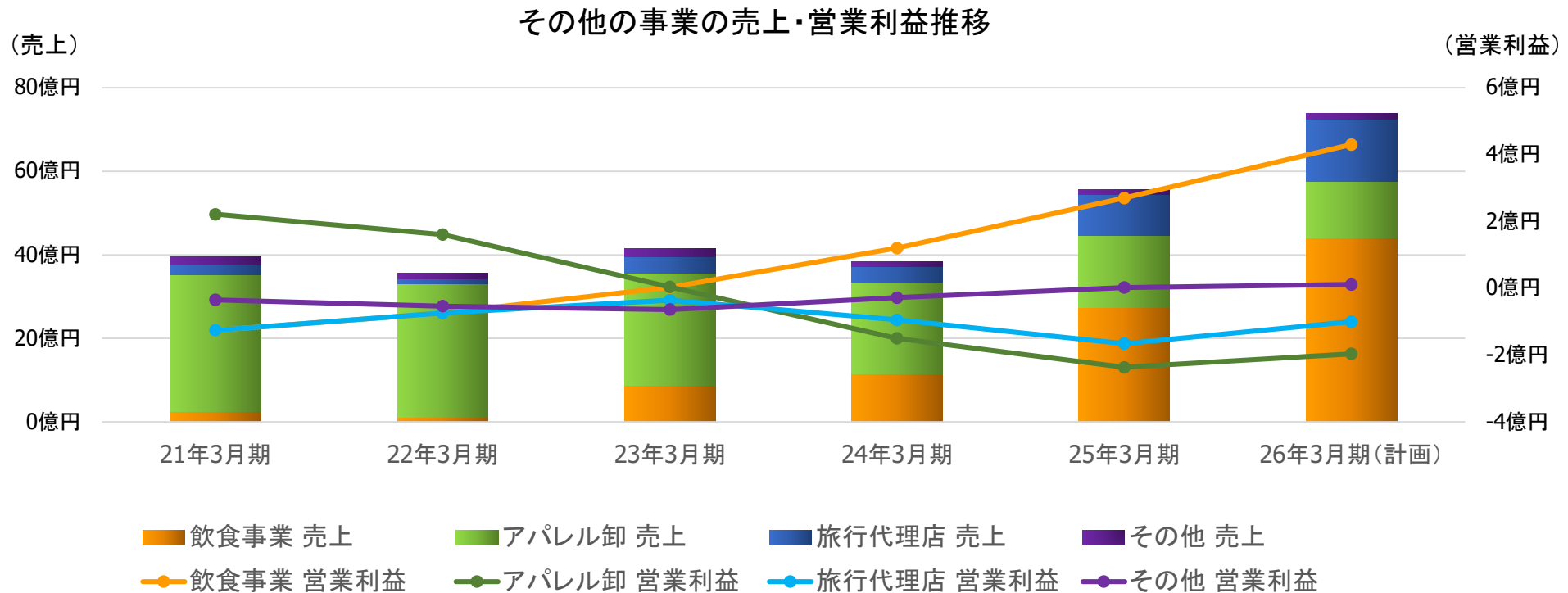
4-12. 飲食、その他の事業【Three（5億円）達成事業】

BELLUNA

飲食、その他の事業は、

26年3月期で売上高73.7億円（前期比+32.5%）、

営業利益1.4億円（前期比+2.8億円の利益改善）を計画



4-13. 資本コストや株価を意識した経営に向けた対応

BELLUNA

業績の改善

- (1)第6次短期経営計画の必達

資本効率を意識した経営

- (1)ROE10%以上を意識した経営
- (2)収益性を期待できない事業からの撤退、縮小
(前期実績2部門、今期実績2部門、来期予定1部門)
- (3)シナジーがあり、将来有望な企業のM&A

株主還元の拡充

- (1)還元方針の明示
- (2)安定的、継続的な配当

投資家との対話の拡充

- (1)中間、期末決算説明会の実施に加え、1Q・3Q決算の
アナリスト向け説明会実施
- (2)個人向けIRの充実

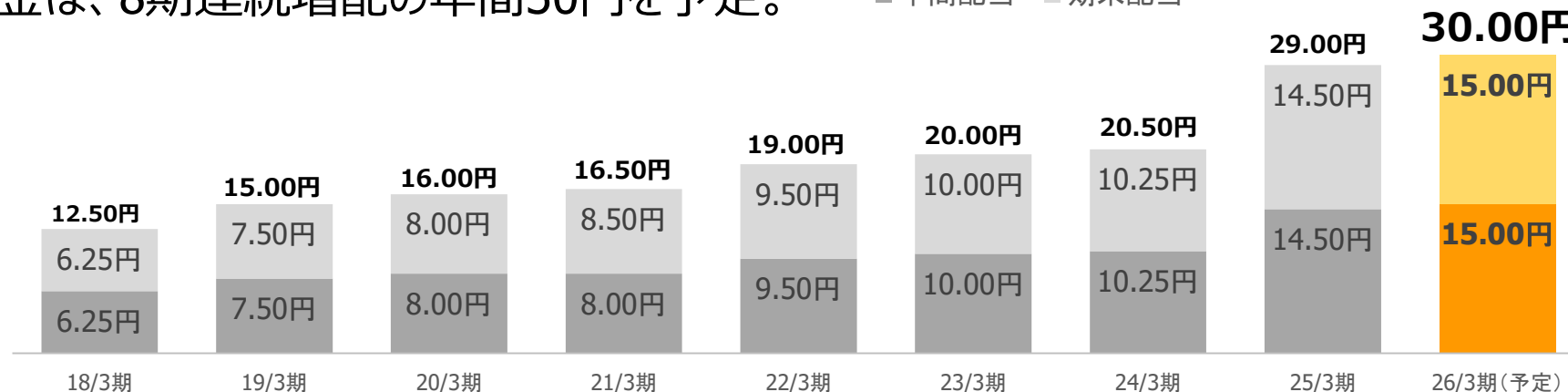
4-14. 株主還元

<配当状況>

BELLUNA

配当金は、8期連続増配の年間30円を予定。

■ 中間配当 ■ 期末配当



EPS(円)	99.41	106.39	60.62	114.17	105.55	76.71	60.39	91.25	98.72
配当性向(%)	12.6	14.1	26.4	14.5	18.0	26.1	33.9	31.8	30.4
DOE(%)	1.4	1.4	1.5	1.3	1.5	1.5	1.5	2.0	-

<株主優待>

[内容]

通信販売優待割引券
またはベルーナネットで使用できる優待ポイント
またはグルメ・ワイン・日本酒商品
ベルーナグループ運営（提携）施設で利用可能な
券面額1,000円の優待割引券

100株以上

1,000円分

2枚
(2,000円分)

500株以上

3,000円分

6枚
(6,000円分)

1,000株以上

5,000円分

10枚
(10,000円分)

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

5. 参考資料

BELLUNA

5-1. ベルーナグループのホテル一覧

ベルーナグループのホテル一覧

BELLUNA

No.	地域	タイプ	施設名	部屋数	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	稼働時期
1	沖縄	国内リゾート型	ホテル浜比嘉島リゾート	29														2013年5月
2	福島	国内リゾート型	裏磐梯レイクリゾート	324														2015年10月
3	長野	国内リゾート型	ルグラン旧軽井沢ホテル	43														2016年7月
4	京都	国内都市型	京都グランベルホテル	105														2017年7月
5	長野	国内リゾート型	ルグラン軽井沢ホテル&リゾート	58														2018年7月
6	スリランカ	海外	ルグラン・ゴールホテル	57														2018年7月
7	モルディブ	海外	ウェスティン・モルディブ ミリアンドゥーリゾート	70														2018年10月
8	ハワイ	海外	エバ・ホテル・ワイキキ	92														2019年3月
9	大阪	国内都市型	梅田ホリックホテル	117														2021年4月
10	大阪	国内都市型	大阪グランベルホテル	191														2021年4月
11	北海道	国内都市型	札幌グランベルホテル狸小路	218														2021年4月
12	北海道	国内リゾート型	定山渓ビューホテル、エグゼクティブスイート翠嶺	630														2021年8月
13	北海道	国内都市型	すすきのグランベルホテル	300														2021年9月
14	スリランカ	海外	コロomboグランベルホテル	292														2022年5月
15	京都	国内都市型	京都グランベルホテル hanareya	13														2022年12月
16	銀座	国内都市型	銀座ホテル by グランベル	102														2023年4月
17	北海道	国内リゾート型	洞爺サンパレスリゾート&スパ、ザ・レイクスイート湖の栖	404														2023年4月
18	北海道	国内リゾート型	ニュー阿寒ホテル	370														2023年4月
19	北海道	国内都市型	札幌ホテル by グランベル	605														2025年3月
20	北海道	国内都市型	札幌ファンゲートホテル	141														2025年4月
21	北海道	国内都市型	小樽グランベルホテル	159														2025年7月
22	宮城	国内リゾート型	ホテル瑞鳳、櫻離宮	131														2025年10月
23	宮城	国内リゾート型	秋保グランドホテル	140														2025年10月
			計	4,591														

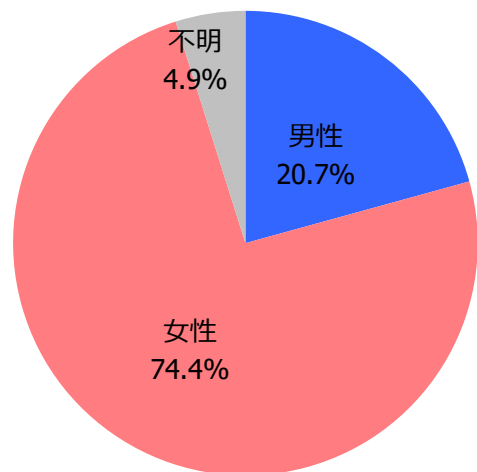
5-2. 総合通販事業 登録会員の特徴

BELLUNA

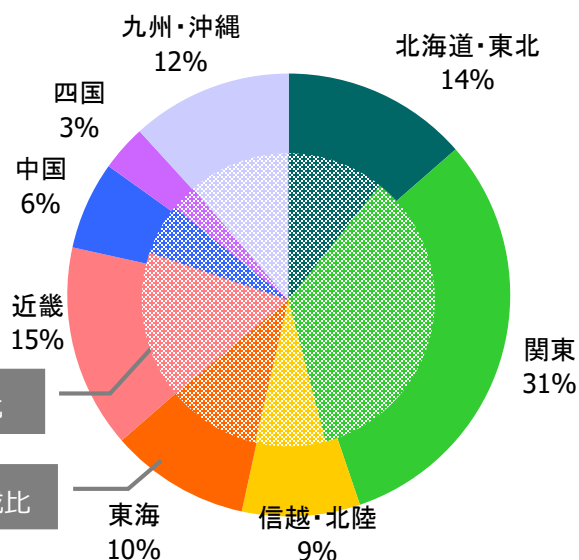
高齢者、地方の買い物困難者の生活インフラとしての役割も担う。

登録会員の特徴（2025年9月末時点）

<性別>



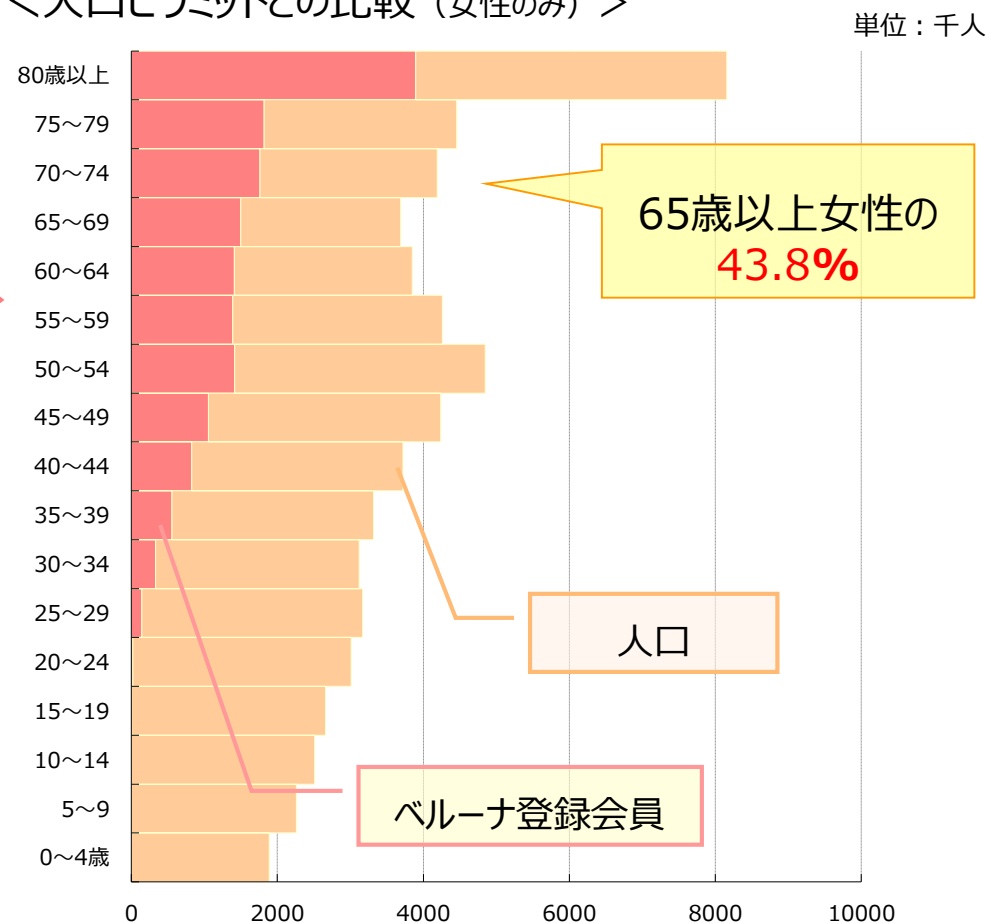
<地域>



地域別の人口構成比

地域別の当社会員構成比

<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>



※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

5-3. サステナビリティに関する取組み

BELLUNA

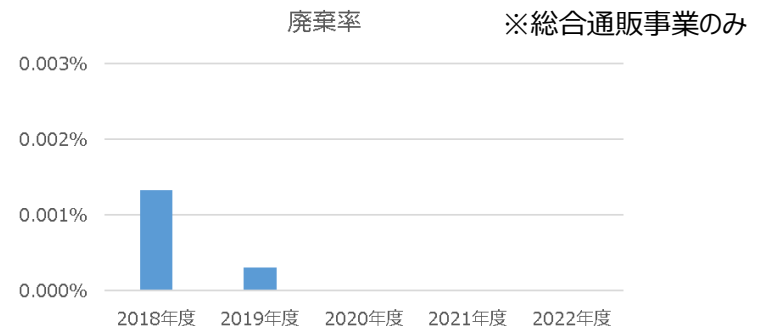
主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

① より豊かな衣食住遊を提供し、買い物難民問題の解決に貢献

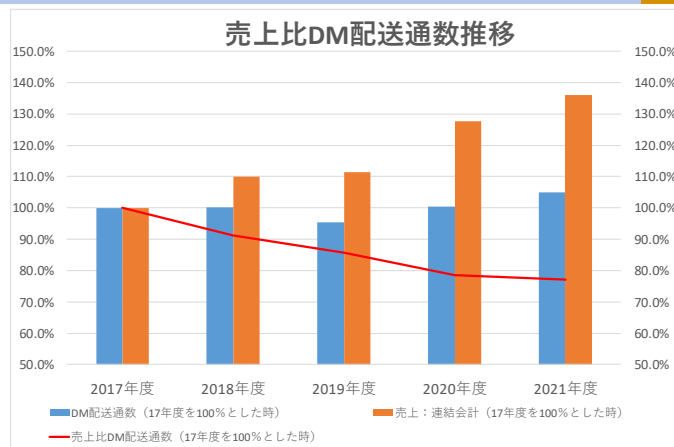


	人口	ベルーナ登録会員	比率
全国	125.0百万人	29.0百万人	23.2%
過疎地域	9.6百万人	2.9百万人	30.8%

② 商品ロスの削減



③ カタログ等の紙使用量の削減



④ 物流センター等のCO2排出量削減



吉見ロジスティクスセンター

5-4. サステナビリティに関する取組み

BELLUNA

主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

⑤ 従業員の働き方改善



お母さんの職場見学会



物流センター社会科見学会

⑥ オリジナル商品のサステナブル化



⑦ グループ全体でのSDGs貢献意識の醸成



＜本資料に関する注意事項＞

本資料は、2026年3月期中間決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年11月28日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp